

平成30年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更平成31年3月20日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 都市計画法の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業	5
2 前田利長墓所整備事業	6
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	7
6 市内町家等再生事業	8
7 金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業	9
9 歴史的資産を活用した町家再生事業	10
11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	11
12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	12
18 県道岡・笹川線道路整備事業	13
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業	14
20 高岡御車山保存修理事業	15
24 菅笠保全対策事業	16
28 次世代型ものづくり人材育成事業	17
30 伝統工芸産業希少技術継承事業	18
31 次世代クリエイター工房開設支援事業	19
32 文化財等修理補助事業	20
33 菅栽培調査事業	21
34 ものづくり・デザイン科推進事業	22
35 前田家関連史跡調査事業	23
36 町並み保存・都市景観形成補助事業	24
37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	25
38 獅子舞大競演会開催事業	26
39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	27
40 祭行事・イベント振興事業	28
41 「高岡再発見」プログラム事業	29
42 新たな芸術・文化創造推進事業	30
43 日本遺産魅力発信推進事業	31
44 高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業	32
45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	33
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	34
2 文化財の適切な保存管理	35
3 郷土教育と人材育成の継続	36
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	37
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進	38
2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり	39
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	40

**評価軸①
組織体制**

評価対象年度 **平成30年度**

項目 **現在の状況**

1 計画の実施と推進体制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。

【定量的評価】

協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会2回開催

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

第11回高岡市歴史まちづくり協議会



- 第11回協議会(平成31年2月19日開催)
 - ・計画の変更について
 - ・計画の進行管理・評価について

- ◎ 第14回推進会議(平成31年2月1日開催)
 - ・計画の進捗状況について
 - ・計画の進行管理・評価について
 - ・計画の変更について

- 第21回幹事会(平成30年11月22日開催)
- 第22回幹事会(平成31年1月16日開催)

第14回歴史まちづくり推進会議



評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
1 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観法に基づく届出件数 平成28年度:13件 平成29年度:23件 ※景観計画を変更し平成29年度から届出対象行為を拡大した。 平成30年度:26件 届出件数が増加傾向にあり、周辺環境との調和が図られた良好な景観形成につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(池の端通り)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>修景前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修景後</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、植栽を市の補助金を活用して実施した。</p> </div>			

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況

2 都市計画法の活用

- 実施済
 実施中
 未着手

計画に記載している内容
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

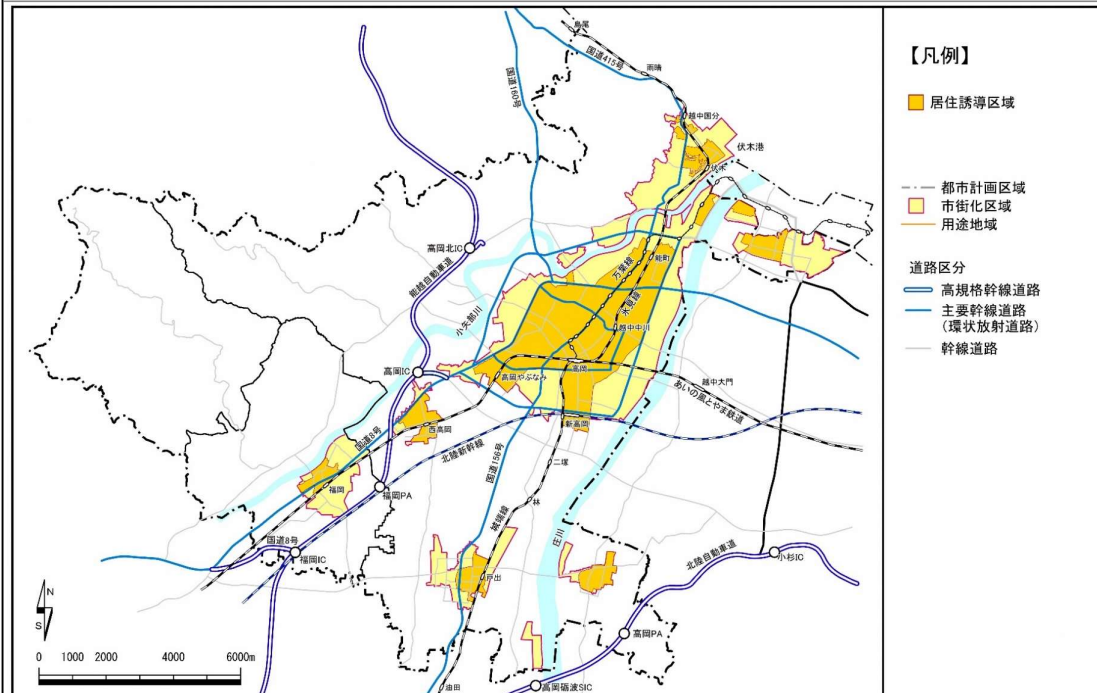
平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定し、5路線16区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。
 平成28年度からは都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの見直しに着手し、平成30年12月に新たな都市計画マスタープランを策定した。同計画の全体構想では都市づくりの基本方針の1つに「歴史・文化を活かした都市づくり」を掲げている。また、併せて策定した高岡市立地適正化計画では居住誘導区域の設定基準の1つに歴史まちづくり計画の重点区域を採用した。

進捗状況 ※計画年次との対応

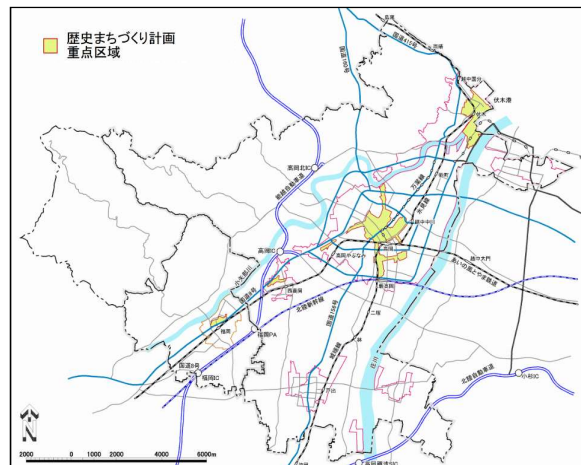
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



居住誘導区域



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-3 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。			
・既存不適格是正実績(直近3年) H28 ⇒ 4件、H29 ⇒ 5件、H30 ⇒ 6件 ・全体 是正(除却含む) 34件 / 既存不適格 96件 既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格の屋外広告物の是正件数が全体の3割程度に留まっている。今後は対象事業者に対して再度是正を依頼したり是正計画書を提出させるなど是正指導の強化を図りたい。		
状況を示す写真や資料等			
既存不適格の是正事例 (屋上広告及び突出広告の撤去)			
			
是正前		是正後	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 瑞龍寺禅堂等の柿葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度において以下の工事を実施した。

山門・総門: 屋根工事完了

※現在、大茶堂・高廊下の素屋根組立完了、既存こけら板撤去、軒付等を修理中。今後、北回廊を工事予定

進捗状況 ※計画年次との対応

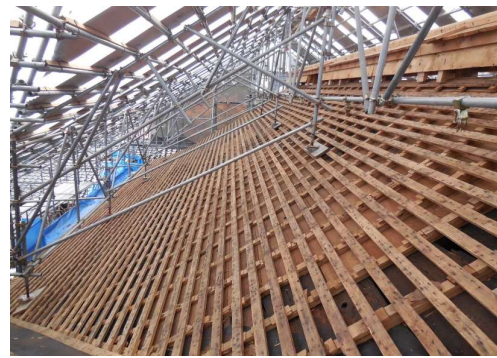
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

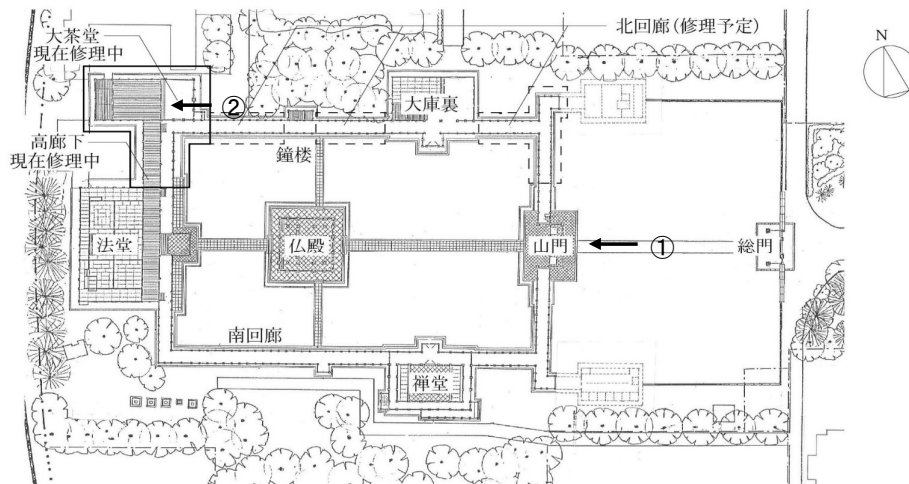
状況を示す写真や資料等



【山門】屋根葺き替え完了 ①



【大茶堂・高廊下】既存こけら板撤去 ②



伽藍配置図

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
2 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、国庫補助による保存整備事業は実施していないが、外側からの眺望景観の改善を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
改善前			
			
改善後			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は以下の工事を実施した。
 式台玄関、式台脇玄関、配膳室、本堂渡り廊下等:木工事、屋根工事中
 鼓堂:木工事、構造補強工事中、経堂:木工事、構造補強工事中
 ※今後は、鼓堂、経堂、総門等を工事予定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

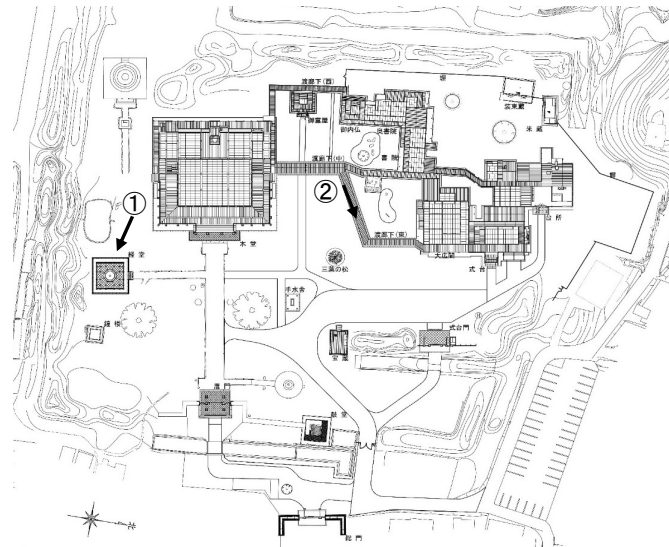
状況を示す写真や資料等



【経堂】構造補強工事 ①



【本堂渡り廊下】木工事中 ②



伽藍配置図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
6 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
※平成30年度は補助実績なし			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況

7 金屋鑄物師町工房(仮称)整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28年度～令和2年度以降

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 金屋町において鑄物工房を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 整備計画の策定
平成29～30年度 建設用地取得、設計

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

周辺環境との調和のため設計に時間を要したが、整備に向けて各種調整を進めてまいりたい。

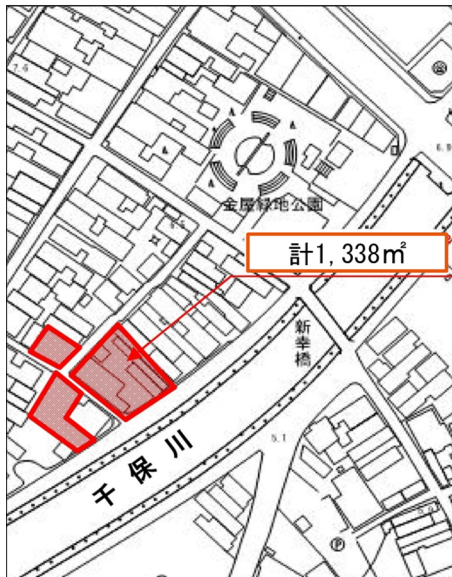
状況を示す写真や資料等



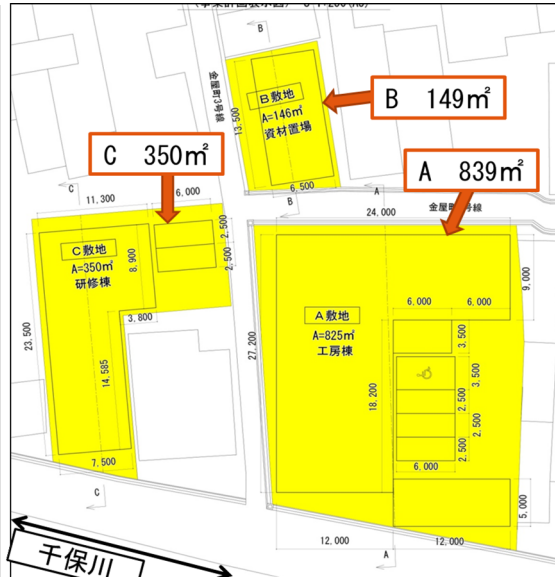
千本格子の家並



建設予定地



整備予定地位置



建物配置計画図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

9 歴史的資産を活用した町家再生事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28年度～平成30年度

支援事業名 まちの未来創造モデル事業(富山県)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の山町筋において、既存の伝統的建築物を活用し、町民文化の情報発信や山町筋の賑わい創出を行う交流拠点を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年3月に竣工、4月にプレオープン(11月グランドオープン)して以降、山町筋の歴史を紹介する思い出地図づくりや和菓子ワークショップ、防災体験イベントなど、町民文化の情報発信などのソフト事業を展開している。全8区画のテナントが埋まっており、他の大型イベント(クラフト市場街)での拠点の利用やミニコンサート、パーティなどにも利用されるなど、知名度が高まっている。
周辺の歩行者通行量の増加(H27:550人→H30:600人)を数値目標として掲げており、平成30年時点で633人と目標を上回っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

施設単体の継続的な集客と賑わいづくりが必要なほか、山町筋全体への波及や他の施設・イベントとの連携が重要であり、運営団体とともに対応を協議し実行に移していきたい。

状況を示す写真や資料等



山町ヴァレー外観



創業祭(4月)の様子



防災イベント(イザ!カエルキャラバン!)の様子

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成13年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度事業内容

伝統的建造物の修理 主屋1件

※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【大野家住宅主屋】修理前

【修理事例】



【大野家住宅主屋】修理後

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度事業内容
 伝統的建造物の修理 塀1件、非伝統的建造物の修景 主屋1件、祠覆い屋1件
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【山内家住宅主塀】修理前



【山内家住宅塀】修理後



【修景事例】



【大島家住宅主屋】修景前



【大島家住宅主屋】修景後

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
18 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、修景整備に係る関係機関との協議・調整を実施した。引き続き、整備内容や整備規模等を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、業務を進める。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
福岡町の町並み		旧北陸道(西側から)	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を勝興寺の改修に併せて行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度:基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催) 平成30年度:実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧参道の現況



評価軸③-11

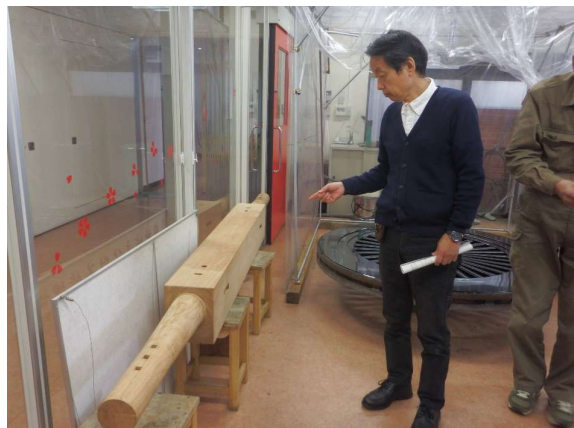
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
20 高岡御車山保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度 守山町山車の車輪(後輪)及び守山町車軸の修繕を実施した。 ※車輪…構造部材の割れや傷みが深刻であり、奉曳の安全上修理が必要であったため実施した。 ※車軸…経年劣化により木材の変形・摩耗が見られ、奉曳の安全上修理が必要であったため実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



【守山町】車輪中間検査



【守山町】車軸中間検査

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

24 菅笠保全対策事業

- 実施済
実施中
未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業
 国宝重要文化財等保存・活用事業(平成30年度～令和2年度)

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。
 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査、新商品の開発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援等実績

H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> 菅笠製作技術後継者育成(技術習得のための育成活動を実施している団体に支援) 菅笠展示・実演(市内外のイベント会場や施設における周知普及団体への支援) 菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座実施団体への支援) 菅草栽培推進事業(菅田の現況把握、菅栽培ボランティアの学校田活動支援) 菅笠展覧会・コンテストの開催(事務協力等支援) ブランド化等事業(新商品の提案・開発等に取り組む団体への支援) 	<ul style="list-style-type: none"> 菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施) 菅笠展示・実演(イベントにおける周知普及事業の実施及び関係団体への支援) 菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び関係団体への支援) 菅田保全のための調査(菅田の現況把握等) ブランド化等事業(新商品の提案・開発等に取り組む団体への支援)

主要活動実績

No.	活動内容	H29		H30		実施団体	備考
		回数	参加者数	回数	参加者数		
1	菅笠講座(笠骨)	各10回	9名	20回	4名	H29:越中福岡の菅笠製作技術保存会 H30:高岡市	H29:2コース H30:1コースへ統合
2	菅笠講座(笠縫)	各20回	39名	20回	16名	H29:越中福岡の菅笠製作技術保存会 H30:高岡市	H29:2コース H30:1コースへ統合
3	体験講座	2回	69名	4回	101名	H29:越中福岡の菅笠製作技術保存会 H30:高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会	
4	菅笠展覧会・コンテスト	1回	258名	開催予定なし		菅笠展覧会・コンテスト実行委員会	

上記支援や活動を通して、越中福岡の菅笠製作技術の周知や、後継者育成を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題) ・高齢化による技術保持者の減少 (対応策) ・後継者育成講座の充実
--	---

状況を示す写真や資料等



後継者育成(笠縫・笠骨講座)



後継者育成(職人育成)



菅笠づくり実演・体験講座



菅田調査

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

28 次世代型ものづくり人材育成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 昭和43年度～基礎・研究コース、平成12年度～造形コース、平成26年度～3D造形コース、平成30年度～精密
 鑄造コース

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昭和43年より実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。計47名の受講生が各コースにおいて技術習得に励んだ。

<内容>※平成30年度よりコースを再編

- 【木曜夜間 午後6～9時実施】回数 年26回
 - ・金工:彫金(基礎、研究)コース、精密鑄造コース(年11回)
 - ・漆工:塗り、加飾コース
 - ・3D:3D造形コース(年10回)※平成26年度より実施
- 【第2・4土曜 午後1～5時実施】※平成12年度より実施 回数 年16回
 - ・金工:鑄造コース、漆工:乾漆コース

<実績>受講生 計47名:平成30年度(第26期前期)

- ・金工:彫金基礎コース6名、彫金研究コース5名、精密鑄造コース6名
- ・漆工:塗りコース7名、加飾コース3名
- ・3D:3D造形コース5名
- ・金工:鑄造コース8名、漆工:乾漆コース7名

<成果>

- (1) 修了生一延べ 1050名(昭和43年～平成29年度【30年3月末】)
- (2) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

金工



彫金基礎コース



彫金研究コース



精密鑄造コース



鑄造コース

漆工



塗りコース

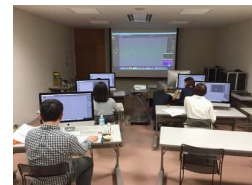


加飾コース



乾漆コース






3D



3D造形コース

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
30 伝統工芸産業希少技術継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から、旧「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。 より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住をを促すことで、伝統工芸産業の活性化を図る。 ・<育成者> 中村 喜久雄 <継承者> 上田 剛 【部門】銅器 焼型(平成29年度より継続) ・効果 平成24～30年度の間に、12組の技術継承を支援し、希少な技術が継承された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>原型制作</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>石膏型</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>型込め</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>溶解・鑄込</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>仕上</p> </div> </div>			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
31 次世代クリエイター工房開設支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナー等による市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限3万円、最長2年)、取得費(上限80万円)、改修・改装費(上限60万円)、設備機器費(上限20万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。 ●平成30年度支援実績:なし			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成30年度は利用希望者がいなかったものの、今後も事業の利用を検討している事業者に対し、引き続き支援していく。今後はさらに制度の周知を強化してまいりたい。	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
32 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。 また、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作製等を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。 ・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施。 ・平成30年度は、昨年度より3件増の8件の修復工事を受注し・完了し、人材育成、技術の伝承につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
山車の修理の様子		視察・研修会の様子	

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目 現在の状況

33 菅栽培調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

生育中の6月に、スゲの表面に斑点の発生が見られるようになり、生育が阻害される事態が発生した。このことから、原因究明と対処策を講じるため、県「高岡農林振興センター」を通じ「富山県農林水産総合技術センター農業研究所 病理昆虫課」の築尾 嘉章氏に解析(分析)を依頼。結果、Phoma菌類に分類される新種の病原菌が原因であることが判明した。今後、良質なスゲ栽培を続けて行くためにも生育過程における病原菌対策を講じる必要があり、対応策を検討中である。

スゲの刈取りに当っては、平成29年度にスゲの刈取りの効率化を目指し、稲刈り機や草刈機を改良した機械を導入し、刈取りを行ったが、稲刈り機はスゲに縦割れが生じるなど品質の低下要因をまねいた。また、草刈機は刈取り後のスゲが散乱してしまうなど、逆に作業効率が低下するなどの問題が生じる結果となった。

このことから、平成30年度には、機械刈取りを休止し、新たな取組みとして、日干し後のスゲを束にして結束する作業の機械化に向けた試みを実施中である。(現在、設計段階)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

- ・良質なスゲ栽培に向けた病原菌対策
- ・機械化による作業工程の効率化

状況を示す写真や資料等



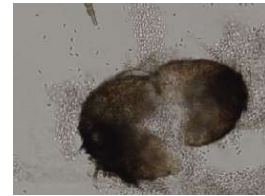
スゲの葉に斑点の症状が発生



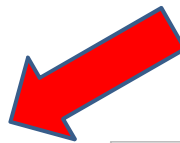
解析(分析)の結果、2種類の菌が検出された。



Septogloeum菌類



Phoma菌類



切り葉に対して病原性あり

健全なスゲの葉に菌を摂取させて、湿室に放置したところ、4日目にPhoma菌類を摂取させた葉から発病、病斑からはPhoma菌類が再分離できたことから新種の病原菌であることが確認できた。

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

34 ものづくり・デザイン科推進事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、年間35時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。

平成30年度は、青貝塗りのブローチや彫刻塗りのオルゴール、錫のスプーンや小物等の制作に取り組んだ。

【定量的評価】

「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合

約92.2% (3,509人/3,806人)(H30年度)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

小学校の取り組み例

児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例

学校名	小学校	
学年	5年	6年
タイトル	曲がる錫の小物	青貝塗りの置時計
写真(活動)		
写真(作品)		



中学校の取り組み例

学校名	中学校	
学年	1年	
タイトル	鑄造による錫の小物	
写真		



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

35 前田家関連史跡調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成20年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 県指定史跡「高岡城跡」の価値を高め、保存することを目的に、発掘調査や文献調査などの詳細調査を実施する。守山城跡の史跡範囲の確認を目的とした調査を実施する。
国指定史跡「加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)」の保存・活用を目的に、保存管理計画及び整備基本計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度: 守山城跡詳細調査(遺構確認調査)

遺構確認調査によって殿様道部分の縄張図を補測した。
文献史料調査を実施しているが、守山城跡の新たな絵図等の発見には至っていない。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

守山城跡詳細調査 (平成30年4月2日～平成31年3月29日)



遺構確認調査(殿様道補測風景)



文献史料調査

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目 現在の状況

36 町並み保存・都市景観形成補助事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。

平成28年度:修景補助7件

平成29年度:修景補助5件

平成30年度:修景補助1件

継続的な修景事業の実施により、周辺環境との調和が図られ、良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



修景前



修景後

当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の和風瓦葺きについて助成を行った。

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡鋳物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」や、後続事業で、町家暮らしや伝統文化を体験する「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町人文化」の魅力を広く発信した。昨年度に引き続き、工芸都市高岡クラフトコンペティション、高岡クラフト市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。結果、来場者が金屋町の魅力を知るきっかけとなった。 ・開催日 平成30年9月22日～23日 ・来場者数 20,000人 ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売 町並みのライトアップ 鋳物、ガラス等のワークショップ 空き家ツアー・ガイドツアー きもの通りファッションショー 他			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



クラフトイベント合同のポスター
(ミラレ金屋町の開催期間は22日・23日のみ)



石畳通り往来の様子



ワークショップの様子

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

38 獅子舞大競演会開催事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらえる機会をつくることで継承につながった。高岡市だけでなく県内の特色のある獅子を招聘し開催した。

平成30年度は6団体の獅子舞団体を市内外から招き、以下の日程で獅子舞大競演会を開催した。

(開催日)平成30年5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



末広町会場



@パーク会場



ウイング・ウイング高岡会場

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目 現在の状況

39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

- 平成30年度は以下のイベントを行った。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(平成30年8月25日、26日開催)
 土蔵造りの建物での講演会とプロジェクションマッピング、クラシックカーギャラリーなど
 ②山町筋の天神様祭(平成31年1月19日、20日開催)
 山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
 ③山町筋のひなまつり(平成31年3月9日、10日開催)
 山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

40 祭行事・イベント振興事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。
 高岡御車山祭(平成30年5月1日開催)
 伏木曳山祭(平成30年5月15日開催)
 二上射水神社築山行事(平成30年4月23日開催)
 八丁道おもしろ市(平成30年5月20日、10月21日開催)
 御印祭(平成30年6月19日、20日開催)
 高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高岡御車山祭



伏木曳山祭(けんか山)



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
41 「高岡再発見」プログラム事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

一昨年末までは、小学3～6年生を対象に行ってきたが、低学年児童も積極的に足を運び、高岡の魅力、よさを肌で感じてほしいと考え、昨年度より小学1年～4年を対象とした。また、ポイント箇所を6カ所増やした。これまでの歴史的建造物に加え、市内北西部や南部にもエリアを広げた。3つのコースに分けて認定を行う。

シルバーコース(15ポイント以上): 昨年度1,633人 → 今年度1,100人

ゴールドコース(25ポイント以上): 昨年度1,141人 → 今年度1,150人

日本遺産コース(日本遺産ポイント10ポイント以上): 昨年度1,297人 → 今年度1,482人であった。

・保護者が児童とともにスタンプラリーに参加することで、親子の会話や触れ合いの時間が増えたとともに、万葉歴史館や歴史資料館等の来館者数も増加した。引き続き、児童が郷土に対する誇りと愛着をもつ心を育むことができるよう参加への意識高揚を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリーポイント箇所



スタンプラリー実施要領

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
42 新たな芸術・文化創造推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業 地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「Art&Craft City高岡」を表現した事業の実施(クラフト市場街との連携) ・文化創造都市に関する情報発信(テレビ番組制作・ウェブサイトの運営) ・文化創造都市高岡市民会議の開催 ※平成29年度は文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業(富山県支援事業)を活用して実施 市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出すしたことにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>「Art&Craft City高岡」を表現した事業の実施(クラフト市場街との連携:工場見学の様子)</p>		 <p>文化創造都市高岡市民会議等についての検討(アート&クラフトシティ高岡推進委員会の様子)</p>	
 <p>文化創造都市に関する情報発信(ウェブサイト運営)</p>		 <p>文化創造都市に関する情報発信(テレビ番組制作)</p>	

評価軸③-27 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
43 日本遺産魅力発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー(加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-)を通して歴史的魅力を溢れた文化財群を総合的に整備、活用し、国内外に情報発信や普及啓発を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年5月「荒波を越えた男たちが紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に本市の文化財が9つ追加認定された。また平成30年9月には「日本遺産サミットin高岡」を開催し、7,300人が訪れるなど、国内外への情報発信や市民への普及啓発に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>全67件の日本遺産のストーリーが全国から一堂に会する「日本遺産サミットin高岡」の開催</p>		<p>「日本遺産サミットin高岡」にて「高岡クラフト市場街」と連携した日本遺産のPR</p>	
			
<p>平成30年5月「荒波を越えた男たちが紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に本市の文化財が追加認定</p>		<p>伏木小学校5年生を対象に北前船の歴史や日本遺産ストーリーを学ぶワークショップを実施</p>	

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
44 高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和元年度	
支援事業名	文化芸術振興費補助金(観光拠点形成重点支援事業)	
計画に記載している内容	高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業として、情報発信事業、普及啓発事業を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・初開催となった「ふるこはんフェス」では、勝興寺関係者はじめ地元の若手有志や市内の僧侶、学生などが企画段階から参加しており、この運営メンバーが本イベント開催や地域づくりの核となっていくというような地域人材の発掘と組織化という面に可能性を見いだせた。【来場者数】3,000人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



2018.10.6 sat 12:00-21:00 音楽演奏
 会場：伏木・雲龍山勝興寺
 お坊さんDJ 坊主Café & Bar
 勝興寺見学ツアー コンサート
 フード&クラフトマーケット

地元のみなさんから招き込みを込めて「ふるこはん」と呼ばれる勝興寺。勝興寺の所在地「伏木古園府(ふるこくふ)」にちなんだ名称です。古くから真宗五箇・雲山を代表する寺院であり、地元の人々に支えられてきた。地域の宝もの。そんな勝興寺の20年余りに渡る「平成の大修理」も経過となり、かつての荘厳さを取り戻しつつあります。よみがえった勝興寺に多くの人々に訪れてほしい。もっと地域に開かれたお寺にしたい。そんな思いから、第1回「ふるこはんフェス」を開催します！

オープニング ふるこはんフェスのオープニングを飾る。伏木中学校 吹奏楽部による演奏です。

坊主Café & Bar [LOTUS]
 僧侶は昼の機会のみでない僧侶の皆さんが飲みや食べ物を交えて気軽にしゃべりして楽しんでお茶や、デザートバーテンダーのクラブによる飲み物も取りそろえてあります。

僧侶DJ
 お坊さんDJが自身の空気に合う音楽を流し、阿弥陀仏が見守る落ち着いた空間で音楽を楽しむことができます。

音楽演奏
 雲山境内の茶手僧侶の皆さんによる声楽(しょうみょう)と雅楽(しょうせう)の演奏や、お坊さんによるお茶の淹れ方などの体験できる音楽会です。僧侶の着ている法衣の展示も実施！

勝興寺見学ツアー
 今年から開催された本寺を含め、国の歴史文化財に指定されている勝興寺の施設を巡視するツアーを実施。今回は特別にナイトツアーも開催！

コンサート
 夜の時間帯は、質の高い音楽ライブをお届けします。キターの石原雅が古岡出身の「Robin's Egg Blue」は、NY市内地下鉄の会場アーティストライセンスを持つアメリカ人で、2017年より定期的に地元を巡回演奏を続けています。また、アメリカ、アジアでも活動する実力派バンド「ROTH BART BARON」の演奏も決定！

フード&クラフトマーケット
 雲山境内の美味しいフードやスイーツ、クラフトビールから手作りによるクラフトのお菓子まで、地元の人や皆さんが楽しんでくれるものづくりに参加する機会も実施です！

コンサート
 雲山境内の美味しいフードやスイーツ、クラフトビールから手作りによるクラフトのお菓子まで、地元の人や皆さんが楽しんでくれるものづくりに参加する機会も実施です！

告知チラシ



お坊さんDJ



坊主Café & Bar

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ユネスコ無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内小・中・支援学校の児童生徒が、壁新聞、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を再発見し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。 【定量的評価】 校内選考を通過した優秀作品数として、壁新聞の応募件数78点 俳句の応募件数156点 短歌の応募件数15点 表彰数は、最優秀賞：各1点、優秀賞：各2点、佳作：6点			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

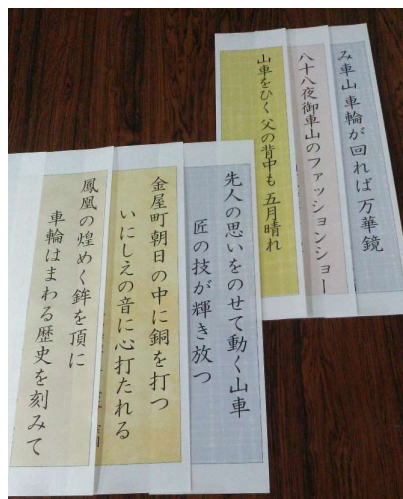
状況を示す写真や資料等



表彰式の様子



壁新聞



短歌

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
----	-------

1 文化財の調査・研究の充実

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。
 ・前田家関連史跡調査事業
 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、文献史料調査)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



遺構確認調査(殿様道補測風景)



殿様道途中の石造物確認

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

2 文化財の適切な保存管理

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。
 各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。
 文化財の防災訓練の定期実施や防犯対策の徹底を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の適切な保存・管理を目的に平成30年度は主に以下の事業を実施した。

- ・瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業
 山門・総門の屋根葺き替え完了。大茶堂・高廊下の屋根工事を実施した。(P5参照)
- ・勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業
 式台玄関、式台脇玄関、配膳室等の保存修理工事を完了した。(P7参照)
- ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業
 山町筋・金屋町の両伝達地区において、伝統的建造物の修理及び修景を実施した。(P11・12参照)
- ・高岡御車山保存修理事業
 守山町山車の車輪・車軸の修繕を実施した。(P15参照)
- ・防災訓練の実施
 1月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
 瑞龍寺、氣多神社、金屋町重要伝統的建造物群保存地区、佐伯家住宅、勝興寺、
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、戸出御旅屋の門、武田家住宅
- ・防犯対策(日々の見回り等)の注意喚起

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【瑞龍寺：総門】屋根葺き替え完了



【守山町】後輪金具取り付け完了



【金屋町】防災訓練

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 平成30年度

項目 現在の状況

3 郷土教育と人材育成の継続

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。
学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

- ・菅笠保全対策事業(P17参照)
菅笠製作技術後継者の育成等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P18参照)
高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・伝統工芸産業希少技術継承事業(P19参照)
希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すために、補助金を交付
- ・文化財等修理補助事業(P21参照)
- ・菅栽培調査事業(P22参照)
菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会等
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P23参照)
青貝塗りのお皿、彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作授業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業(P29参照)
二上射水神社築山神事、御印祭ほか
- ・ミラレ金屋町(旧金屋町楽市)開催事業、獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P25~27参照)
イベント助成事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



菅笠製作技術後継者の育成



ミラレ金屋町(旧金屋町楽市)



次世代型ものづくり人材育成

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成30年度
古地図見て高岡観光を 城下町の名残体感	H30.4.13	富山新聞
高岡・重伝建の山町ヴァレー テナント埋まり盛況	H30.5.5	富山新聞
移住体験施設オープン 高岡・金屋町	H30.5.12	北日本新聞
日本遺産に木彫刻の井波「北前船」に富山・高岡追加	H30.5.24	北日本新聞
町家移住 良さをアピール 金屋町 地元有志が体験施設	H30.5.26	北日本新聞
菅笠作りの後継者育成 福岡で講座始まる	H30.6.20	北日本新聞
高岡の铸物発展願う 金屋町で御印祭	H30.6.21	富山新聞
北前船の歴史学び壁新聞に 伏木小5年生	H30.8.10	北日本新聞
吉永さんCM 14日から放映 高岡・金屋町が舞台	H30.9.13	北日本新聞
利長と永姫に扮し入城行進 高岡開町まつり400+9	H30.9.17	北日本新聞
歴史都市・高岡を再認識 日本遺産サミット	H30.9.23	富山新聞
歴史的町並み情報満載 着物ファッションショーなどイベント多彩 高岡で「ミラレ金屋町」	H30.9.23	北日本新聞
歴史文化を体験「高岡六山」御朱印巡り	H30.10.1	北日本新聞
高岡・勝興寺で「僧侶フェス」音楽法要や坊主カフェ	H30.10.7	富山新聞
新たな宝に歓声 平成の御車山試し曳き	H30.10.15	北日本新聞
座敷で獅子舞ハイツハイツ 高岡 吉久で6年ぶり	H30.10.21	北日本新聞
高岡銅器 国伝統的工芸品 生型鑄造法を追加指定	H30.11.8	富山新聞
まちづくりに寺院活用 高岡で寺町サミット	H30.11.9	富山新聞
空き家活用 飲食店開業 铸物の町に新たな魅力	H31.1.19	北日本新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。
重伝建地区の金屋町には地元住民らでつくるNPO「金屋町元気プロジェクト」が空き家だった町家を改修した移住体験施設「さまのこハウス」がオープンした。同施設によって県内外からの移住を促進し町並み保存へ向けた空き家の解消と合わせて、人口減少と高齢化に一定の歯止めをかけ、地域のものづくり産業の新たな担い手の創出が期待されている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

北日本新聞 平成30年5月26日付

富山新聞 平成30年5月5日付

		評価対象年度	平成30年度
項目			
1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進			
計画に記載している内容	平成27年3月の北陸新幹線開業の機会を活かし、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を經由し金屋町までの範囲、及び伏木地区を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
たかおかストリート構想に基づき、エリア内の歩行者案内用矢羽根サインの整備を進めているところである。また、伏木地区についても、平成28年2月に策定した伏木地区ストリート構想に基づき、歩行者案内用拠点サインの整備(平成29年度に完了)や勝興寺寺内町の道路修景整備事業(P14参照)に取り組んでいる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

項目

2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり

計画に記載している内容 文化財の保存・活用において、今後市民と行政の連携体制の整備や活動支援の充実を図っていく必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史まちづくり計画に基づき、事業を進めてきたことにより、徐々に市民の歴史に対する認識も深まってきているほか、歴史まちづくりに関連する活動に広がりが出てきている。

- ・平成26年6月には、山町筋と金屋町の2つの伝建地区を結ぶ沿線における道路の修景整備を契機とし、観光客が散策を楽しめる地域づくりを目的とした川原本町周辺街づくり協議会が設立された。
- ・平成26年9月には、重要文化財勝興寺に通じる参道として風情漂う落ち着きのあるまちにふさわしい景観づくりを進めることを目的とした、勝興寺寺内町通り景観協定が締結された。
- ・平成27年4月には、袋町と平米町の2町で旧町名が復活し、獅子舞が10年ぶりに復活するなど地域コミュニティの結束が強まった。
- ・平成28年4月には、西海老坂地区で、江戸時代から口伝で受け継がれてきた伝統を絶やさないよう、獅子舞保存会が立ち上げられ、22年ぶりに獅子舞が復活した。
- ・平成28年5月には、吉久まちづくり協議会で、将来的な重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、景観まちづくり表彰や様々なイベントを実施する「継承部会」のほか、教養講座や街歩きを行う「町育部会」などが立ち上げられ、活動が行われている。
- ・平成28年9月には、国宝瑞龍寺において「ものづくり」などの高岡の歴史や文化をベースに観光振興へ向けた人づくりを目的とした熱中寺子屋が開校し、様々な分野の人たちが集まり、刺激しあう場所ができ、以降、継続的に取り組みが続けられている。
- ・平成28年には、地元の映画制作会社や実行委員会により、金屋町が舞台で鋳物師を主人公にした映画「デンサン」の撮影が行われ、平成29年に試写会が行われた。
- ・平成29年4月には、歴史的資産を活用した町家再生事業において、伝統的建造物を商業施設として改修した「山町ヴァレー」がオープンした。管理運営は若手事業主らでつくる(株)町衆高岡が担っている。
- ・平成30年5月には、金屋町において空き家だった町家を移住体験施設として改修した「さまのこハウス」がオープンした。管理運営は地元住民らでつくるNPO法人「金屋町元気プロジェクト」が担っている。また、同NPO法人の誘致活動により平成31年1月には金屋町に空き家を活用した飲食店が2店オープンした。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



さまのこハウス外観



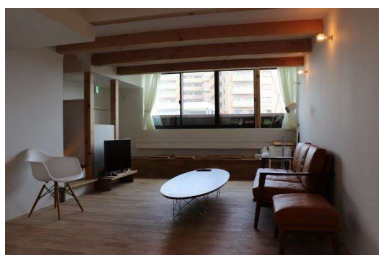
さまのこハウス完成式典(5月)の様子



さまのこハウス屋内(改修部)



NPO法人「金屋町元気プロジェクト」定例会議の様子



さまのこハウス屋内(新築部)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第11回高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 平成31年2月19日(火) 午後2時～	
<p>(コメントの概要)</p> <p>1 歴史まちづくり計画の変更について</p> <p>【ミラレ金屋町開催事業】 最近、施設名称に方言を採り入れることが流行っているのか黒部市にもコラーレという施設がある。ミラレは若年層には親しみやすい名称であると思うが、歴史文化という観点で年配者が聞くと軽いと感ずるのではないか。</p> <p>2 進捗管理・評価シートについて</p> <p>【次世代クリエイター工房開設支援事業】 市民創造都市として、今を生きる市民が歴史を作っていくという観点では、次世代を担うクリエイターが地域コミュニティに溶け込み創造活動を行うことが大事である。</p> <p>【ミラレ金屋町開催事業】 伝統的なものに新しいものを採り入れたものが高岡の工芸技術であるということを前面に打ち出すためには、あえてクラフトだけを使うのではなく「KOGEI」を上手に活かした方が良いのではないか。</p> <p>【菅笠保全対策事業】 菅笠作りが生業として成り立たなければ、継承者が育たなく若者も取り込めないため、どうやって販路を開拓していくのが課題である。例えば伝建地区でのPRや展示・販売をやってはどうか。商品を作ったあとの管理を考えていかないと文化的景観も失われていく。</p> <p>【前田利長墓所整備事業】 敷地内に樹木が生い茂り過ぎている。墓所を訪れた人が見て感動する空間になるよう整備してほしい。</p> <p>【山町筋・金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業】 板塀の修理に新しい材料を安易に使用している事例もあるので、材質をしっかりと理解した上で修理してほしい。高岡は本物の材料や職人技を使用した建物が多く残っているので、修理によって、それが失われないようにしてほしい。</p> <p>【県道岡・笹川線道路整備事業、勝興寺寺内町道路修景整備事業】 路面の仕上げについては耐久性を考慮しながら高岡らしさを出してほしい。誰もが散策したくなるような演出をお願いしたい。 歴史資産を活かして歩いて楽しいまちづくりの実現に向けて、拠点となる文化財等を線で繋ぐためには飲食店やお土産屋など民間に働き掛けも必要となるが、そのためには市民共通の夢を描いたビジュアルを作成するべきではないか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅笠の販路開拓として、インターネットでの販売を予定している。 ・伝建地区の修理事業については本物を残すことが修理の鉄則という思いで建物所有者の理解を深めていきたい。 ・前田利長墓所の整備は保存管理計画や整備基本計画に基づき実施する予定であり、引き続き実現に向けて取り組んでいきたい。 ・道路修景整備については、地元住民の意見や沿道の建物との調和に配慮して進めていきたい。 ・歩いて楽しいまちづくりについては、ストリート構想を策定して順次整備を進めている。今後、伏木港120周年など大きなイベントに合わせて住民の活動が想定されるため、そのような機会を捉えて市と住民との共働について考えていきたい。 	